

市議会だより

平成26年

第62号

2014.1

■発行:富良野市議会 ■編集:議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL39-2322]









新春風景

平成25年 第4回 **定例会**

12月3日~12月13日 (11日間) 主な内容

•	年頭のご挨拶 · · · · · · P 2
•	富良野市まずはふらのワインで乾杯条例を可決 P2
•	議決結果 · · · · · · P 3
•	一般質問 · · · · · · P 4 ~ 8
	9名の議員が市政全般について質問
•	委員会報告 · · · · · · P 8 ~13
	総務文教委員会報告・都市事例調査報告
	保健福祉委員会報告・都市事例調査報告
	経済建設委員会報告・都市事例調査報告
	議会改革特別委員会報告・議会報告会
	付託案件報告 (保健福祉委員会)
	決算審査特別委員会報告
•	意見書案等 · · · · · · P 13
	議会日誌・編集後記等・・・・・・・・・・・P14

謹賀如年

年頭にあたって

北 猛 俊 富良野市議会議長



作手は、2020年計り お慶び申し上げます。 春をお過ごしのことと謹んで 春をお過ごしのことと謹んで をお過ごしのことと謹んで

被災地をはじめ全国に自信と

迎える東京五輪が、

東北

0

台風被害を受けたフィリピン多発した自然災害や、甚大なす「輪」については、全国です「輪」については、全国ですの輪」については、全国です。

たでの支援と、国内だけでなく の輪が広がっていることを感 じました。 本市においても、地域医療 でました。

「輪」という字には、多く策が動き始めています。 医師の安定的確保に向けた対 医師の安定的確保に向けた対 と の 三者が連携した

であります。様も込められているとのことことなく円滑に回転していくの人が手をつなぎ、とどまるの人が手をつなぎ、とどまるの人が手をつなぎ、とどまるの人が手をつなぎ、とどまる

で取り組んでまいります。で取り組んでまいります。

市民の皆様におかれまして は、本年も変わらぬご理解と は、本年も変わらぬご理解と でる一年となりますことと、 でる一年となりますことと、 でる一年となりますことと、 があってとと、 でる一年となりますことと、 でる一年となりますことと、 でる一年となりますことと、

乾杯条例」が可決!全議員の賛同を得て

日に可決しました。例が提出され、最終日の12月13会において議員提案により本条会におり本条

[条例の提案説明内容]

ドウの栽培からの研究スタートオリジナルワインを目指し、ブ地の有効利用のため、富良野の地の有効の生産性の低い石礫傾斜安定及び生産性の低い石礫傾斜

10万本生産されています。 地、栽培農家27戸、30 km、ワインは17種類、年間30万本、ぶどう果汁は2種類、年間30万本の原料用ブドウ

です。 しかし近年、栽培農家の高齢 とを増すことが懸念される状況 です。

する富良野市のワイン事業は、スキーとワインのまち」を標榜

たします。

5 とするものですが、併せてブド を広めることにより、 必要です。 農産加工を通じ地域農業振興に も期待し、題名に「まずは」 消費拡大による地域の活性化に 良野市に関わる特産品の生産と ウをはじめとした米、麦等の農 の普及の促進を図ることを目的 のぶどう果汁による乾杯の習慣 めざして、ふらのワイン、ふら とのできるワイン文化の醸成を む機会を増やし、もっと身近に 日に至っており、また自治体 のブランド」の先駆者として今 産物の生産による農業振興と富 気軽にワインを味わい楽しむこ インとして事業の持続的経営が 富良野市民がワインに親 このようなことか そして、 ワイン等

以下、その内容について条を追って説明申し上げます。 第1条は、条例の目的に関する 規定です。次に、第2条は市の 規定です。次に、第2条は市の 規定です。次に、第2条は市の

加えているものです。

日からしようとするものです。なお、条例の施行日は公布の

議決結果

平成25年 第4回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事件名	議決月日	議決結果
(25年第3定)認定第1号	平成 24 年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第2号	平成 24 年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第3号	平成 24 年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第4号	平成 24 年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第5号	平成 24 年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第6号	平成 24 年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第7号	平成 24 年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第8号	平成 24 年度富良野市水道事業会計決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)認定第9号	平成 24 年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	12月3日	原案認定
(25年第3定)議案第7号	富良野市相談支援センター設置条例の制定について	12月3日	原案可決
議案第1号	平成 25 年度富良野市一般会計補正予算(第 9 号)	12月13日	原案可決
議案第2号	平成 25 年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	12月13日	原案可決
議案第3号	平成 25 年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	12月13日	原案可決
議案第4号	平成 25 年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第3号)	12月13日	原案可決
議案第5号	富良野市医師養成確保修学資金貸付条例の制定について	12月13日	原案可決
議案第6号	富良野市公共下水道に関する条例の一部改正について	12月13日	原案可決
議案第7号	富良野市水道事業の設置に関する条例の一部改正について	12月13日	原案可決
議案第8号	富良野市水道事業給水条例の一部改正について	12月13日	原案可決
議案第9号	富良野市簡易水道事業給水条例の一部改正について	12月13日	原案可決
議 案 第 10 号	富良野市ワイン事業の設置に関する条例の一部改正について	12月13日	原案可決
議案第11号	定住自立圏形成協定の締結について(中富良野町)	12月13日	原案可決
議 案 第 12 号	定住自立圏形成協定の締結について(南富良野町)	12月13日	原案可決
議 案 第 13 号	定住自立圏形成協定の締結について(占冠村)	12月13日	原案可決
議 案 第 14 号	指定管理者の指定について(富良野市女性センター)	12月13日	原案可決
議 案 第 15 号	指定管理者の指定について(富良野市立養護老人ホーム寿光園)	12月13日	原案可決
議 案 第 16 号	指定管理者の指定について(富良野演劇工場)	12月13日	原案可決
議 案 第 17 号	市道路線の認定及び廃止について	12月13日	原案可決
議 案 第 18 号	平成 25 年度富良野市一般会計補正予算(第 10 号)	12月13日	原案可決
議 案 第 19 号	定住自立圏形成協定の締結について(上富良野町)	12月13日	原案可決
議 案 第 20 号	富良野市まずはふらのワインで乾杯条例の制定について	12月13日	原案可決
報告第1号	専決処分報告(平成 25 年度富良野市一般会計補正予算(第8号))	12月3日	原案承認
報告第2号	専決処分報告(公共施設における物損事故の損害賠償及び和解について)	12月3日	報告済
意見案第1号	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書	12月13日	原案可決
意見案第2号	日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する意見書	12月13日	原案可決
意見案第3号	利用者本位の持続可能な介護保険制度の確立を求める意見書	12月13日	原案可決
その他会議に 付 し た 事 件	所管事項に関する委員会報告	10000	== + \-
	・事務調査報告(総務文教)	12月3日	調査済
	・都市事例調査報告(総務文教)	12月3日	調査済
	・事務調査報告(保健福祉)	12月3日	調査済
	・都市事例調査報告(保健福祉)	12月3日	調査済
	・事務調査報告(経済建設)	12月3日	継続調査
	・都市事例調査報告(経済建設)	12月3日	調査済
	議会改革特別委員会報告	12月3日	継続調査
	監査委員報告 ・例日出納給本結里報告(巫母 25 年度 7 日台。 0 日台)	12日 2 日	起生汶2
	・例月出納検査結果報告(平成 25 年度 7 月分~ 9 月分)	12月3日	報告済3
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・保健福祉)	12月13日	許 可 2

岡 本

俊

化を達成し、

市 民 連 仓

ごみリサイクル

値以下であった。



衛生用品処理機

問 評価と今後の取り組みは 衛生用品資源化処理試験の

間8回、 処理機で行い、実施期間は夏期 ギーの使用量、 同社が導入した紙おむつ資源化 査を行っている。 試験は地元企業に委託し、 冬期間4回の予定。 分別状況、処理状況 滅菌状況、 臭気分析等の調 ペレット製造及 エネル

4 夏期間の試験結果は、 85 tを処理し2・13 tの 衛生用

中学校の今後の利活用は旧樹海東小学校・旧麓郷

を重ねる。

向けた運転方法等について検討

今後の取り組みは、

実用化に

現在に至っており、 いことから売却または貸付に向 は地域活性化の具体的方策がな 活用予定のない普通財産として 域の環境づくりについて。 取り組みと利活用についての地 学校施設の利活用に関する 旧樹海東小学校は、当面 今後の方針 利

れば、 利活用の環境づくりを行う。 地域振興を目的とする要望があ 活用を検討する。 財産利活用検討委員会を通じ利 的にした要望等も考慮し、 建物とその敷地は地域振興を目 発電施設として活用している。 旧麓郷中学校のグラウンドは 調査、 研究などの支援や 利活用に関し 公有

また大腸菌もなく、 有し塩素分も低く問題はない。 3200キロカロリーの熱量を 生成物が回収され、 生成物の熱量は、 55%の減量 臭気は基準 ふるさと納税促進の取り組み 大 栗

公公

明

党

で、工夫ができる。5年を経過 自由に選択できる特徴があるの ふるさと納税は、 寄付先を

理解を深めていただく。 は、 途は基金で対応」で進めている。 策等のPRを充実し、 るが、更なる情報発信PRは。 とする」「特典は行わない」「使 し事業展開を変える考えは。 農村観光都市、 感謝の気持ちを送られてい 制度導入以来、「一般寄付 定額以上の市外寄付者に 移住定住対 本市への

での遊びの場の整備は子育てにおける屋内外

け調査している。

想される中で、若い世代の人達 ができる環境は、 溢れ安全にのびのびとした遊び は力を注ぐべきと考えるが。 でいただくには、子育て支援策 に帰ってきてもらう、 子どもたちの笑顔や歓声が 少子化と過疎化の進展が予 健全な心身の 移り住ん

> 流の場として大変有効と認識。 ともに、 発達を促し親子の絆を強めると 親同士の情報交換や交

民

江

あるが、農村部への整備は。 市街地での遊具は整いつつ

答 各へき地保育所園庭を利用

していただきたい。 スポーツセンターにおける

ただきたい。 的な集まりの中で、児童館やサ 子育て支援事業の拡充の考えは ブアリーナ等の活用を図ってい 保護者同士が自主的・主体

内での子どもの遊び場としての 討していきたい。 機能を勘案しながら総合的に検 が必要。全天候型遊技場は、屋 つどいの広場は、更に検討 全天候型遊技場の設置は。



スポーツセンターでの「ふれあい合同広場」

渋 谷 、ふらの未来の会) 正 文

街路灯・防犯灯設置のあり方

うち、 灯に切替えると、一灯当たりC 24年度を比較し、 すると言われている。 O²排出量が約2分の1に削減 前の平成21年度と導入後の平成 気料金の補助額は、 替わっている。市が把握する電 市内の防犯灯1879基の LED化による効果は。 693灯がLED灯に切 従来の蛍光灯をLED 24万900円 LED導入

町内会が維持管理する防犯灯

設置費補助の基準を従来電灯の 防犯灯のLED化に伴い、

基準から見直しが必要では、

て、 を確保する基準設定を検討する。 灯としての安全・安心な明るさ 示されていないことから、防犯 補助規則には明るさの基準とし LED灯についての基準が 現行の富良野市防犯灯設置

10月16日降雪における対応

問 は図られているのか。 危機管理体制の検証と改善

にすべての住民に伝えるか、 の中で情報伝達の整備がされる 主防災組織あるいは町内会活動 えるかである。今後も一層、 害時要援護者と言われる方に伝 達方法の確立、 内における自助・共助による伝 よう啓発したい。 一つ目は情報の伝達。 市の情報を如何 地域 自 災

運用及び見直しの際に反映する 配備を検討し、 営に必要な防災機材の充実及び とから、 必要がある状況が考えられるこ 等が長期化した場合には開設の 避難所開設を見送ったが、停電 自宅にいることが安全と判断し、 び配備。 二つ目は防災資機材の充実及 地域における避難所運 今回は、外出を控えて 地域防災計画の

開設」は実現できるよう方向付

議を進めたい。「つどいの広場

の事業者をはじめ関係団体と協

載する。

たが、今後は全国との比較につ 答 全道との比較で記載してい

いても特徴的な部分について記

比較分析がないのは何故か。 検・評価シート記載に全国との

広

支援地域行動計画

込みと未達成項目は、 後期計画終了26年度末の見

%の見込み。 事業中、38事業実施で実施率88

みは。 未達成項目とその後の見込

平成27年度から新たな認可保育 間の延長」の3事業については 間保育を併設しており、 る中で検討する。「病後児保育 所開設に向けた運営方法を定め 業により開設された施設が24時 事業の実施」は市街地再開発事 産休明け保育の実施」「保育時 「乳児保育の受入拡大」と 今後こ

画策定に向けたニーズ調査は。 子ども・子育て支援事業計 25年10月に就学前児童の保

瀬 (ふらの未来の会) 寬

査を実施し回収は384件で現 護者829世帯にアンケート調

在調査結果の分析中。

富良野市次世代育成

事業別数値目標を掲げた43

教育行政評価報告書 平成24年度富良野市

全国学力・学習状況調査点

で周知を図る。

できるよう対応し、

広報ふらの

のホームページ、図書館、文化

公民館、各支所でも閲覧

市PTA連合会へ配布、 評価報告書の公表方法は。

市

言思而來世代言成支援地域行動計画

次世代育成支援地域行動計画と教育行政評価報告書

黒 岩 (ふらの未来の会) 岳 雄

土砂災害予防

について。 土石流災害の警戒と予防策

そこに住んでいることを認識す を想定した避難訓練を行ってい 今後も周知、 ることが最も大切なことと考え 防策は、危険個所を知ること、 を関係機関に要請している。予 た際は、 所が指定されている。指定され 北の峰の北2線川をはじめ4筒 また砂防、 土砂災害警戒区域として、 地元説明会や土砂災害 啓発に努める。 治山事業の実施

外国人観光客誘致は

施策について。 外国人観光客増加のための

ビスの充実、またリスク分散を 連携し効果的な誘客に努める。 け予約システム導入によるサー 泊・体験・二次交通の外国人向 ブランド観光圏の確立、 複数の国々や新市場の開 国や関係機関、 団体と 宿

> 問 拡大は重要な課題である。関係 りながら環境整備に努める。 報収集のWi-Fiスポットの いる。情報発信の多言語化、 きる環境には不十分と認識して 報提供とその環境整備について 外国人観光客が一人歩きで T T 民間事業所との連携を図 W ニーFーによる情

の可能性についても検討する。 協議を進めている。多目的利用 な要件となっており、 実はブランド観光圏確立に重要 育成に努める。観光案内所の充 ている。 もてなしなど大変重要と認識し よる観光案内の充実について。 外国人観光客の対応は、 関係機関と連携し人材 広域内で

継者を育てる考えは。

らの方々の指導の下、

地域が後



観光案内所へ訪れた観光客

内において継承しなければなら

地域で自ら育てる対策を再

農業担い手の将来は 出

民主クラブン

野

孝

則

業後継者の就農状況は。 過去5年間の新規参入と農

低下している。市内農業に有能 想定した場合35%の充足率。 継者が32名計41名。この数は農 な農業者が多くおられる。これ 家の世代交代を30年で1世代と 新規参入者が9名。 農家子弟としての就職率が 農業後

外国人対応のガイド育成に

験に限らず、 がりが希薄化されてきている。 族経営が志向され、地域のつな 模拡大が進み、個別完結型の家 た。近年、 の中で若者の育成が行われてき 農業に関する技術・知識・経 従前は共同作業、 各経営体において規 地域の伝統等地域 地域活 動

農業後継者対策に力を入れ 新規参入対策も重要施策だ

度認識いただきたい

に力を入れるべきではないか。 現在、ソフト事業を中心に展開 が良いのか議論を交わしている。 答 現在、農政審議会で間接的 結する、施設補助等ハード事業 しているが、農業意欲向上に直 な支援が良いのか、直接的支援

6次産業化セミナ 一風景

家庭教育の重要性

の会話不足により心が貧しい状 認識すべきと考えるが。 況により悪に走るケースも要因 目立つ。ある教授は、家庭内で 近年、青少年による凶悪犯罪が 回152名参加されているが、 と言う。家庭教育の重要性を再 家庭教育講演会は、延べ10 動広場に競技場建設を断

念し

いた朝日ヶ丘総合公園多目的運

里 雅 (民主クラブ) 至

日

的運動広場整備事業 朝日ヶ丘総合公園多

場の公式面積の確保、高校生の を実施した。 移動しやすい場所が望ましいと 備を図るか意見交換を重ねてき 来を託す子ども達にどう施設整 認めないとの回答があった。未 の補助金が交付され、人工芝は 管内支部予選や練習場としての カー協会に対し説明、 体育協会、ラグビー協会、サッ 動広場 (ラグビー・サッカー) を将来的に見据え、子ども達が 建設できる場所、 た。公式サイズの競技場として 技場等) 整備事業について。) 意見が出され、今回計画して 平成25年第2回定例会以降 朝日ヶ丘総合公園多目的運 総合公園の当初整備に国 人工芝の検討などを行っ 要望があった競技 芝の維持管理 意見交換 競

> ラックは全天候型の公認競技場 分に時間をかけて全体を通じ総 づくりに、体育協会各団体と十 に夢の持てる安全で安心な施設 ポーツ施設の考えは。 心に利用が出来、 として子ども達、 ルド内に公式面積を取り、 れる改修に合わせ競技場フィー 競技場等改修など、今後予想さ てスポーツセンター周辺、 候補地としては、子ども達 断念に伴い、候補地につい 夢の持てるス 市民が安全安

観光振興計画に影響はないか。 展を図るため考えていく。 丘公園と合体する地域振興と発 合的に協議していく。 運動広場断念により北 今後、北の峰地区と朝日ケ の峰



朝日ヶ丘総合公園

話はなかった。

の問い合わせや緊急対応等の電

整を行ったが、幸い、

市民から

石 上 孝 民主クラブン 雄

の配信も実施したところである。

災害時における市の対応は 台風26号による停電と幹線

期化、 道における措置、学校への情報 24時間体制で住民からの電話対 要な場合の連絡先の案内をした。 児童委員等に連絡し、停電の長 固定電話が使用不能な状況のた は、必要な情報収集の対応、 道路の通行止めの対応は。 のお願いと異変や救急対応が必 でに対象地域の各種会長、 情報伝達の状況は、停電により 伝達等の必要な措置を行った。 携帯電話により午後8時ま 防災関係機関等との連絡調 停電と通行止めへの対応に 通行止めの住民への伝達 民生 市

のか。 地元放送局の放送はあった

らせると共に安全・安心メー て停電、 地元ラジオ局の放送を通じ 通行止めの状況等を知

> えられる。 避難所の開設は行わなかった。 今後に向けては、停電等が長期 宅にいることが安全」と判断し、 電においては「外出を控えて自 化した場合は開設の必要性が考 の準備をしていたが、今回の停 万が一に備え、避難所開設 避難所設備は適正だったか。

に反映していく。 防災計画の運用及び見直しの 配備を検討するとともに、 営に必要な防災機材の充実及び 地域における円滑な避難所運 地域

常時における支援体制の充実を 災組織づくりを一層推進し、 図っていきたい。 地域防災の観点から、自主防 非





関 野 常 勝

(民主クラブ)

児童・生徒の学力向上対策は

である。 状況調査の結果と分析は 公表できるように集計、 全校において実施し、12月中に 25年4月に市内の小中学校 平成25年度全国学力・学習 分析中

いる。 推進するため、 に立ち上げ分析、 向上推進プロジェクト」を9月 また、学習改善と学力向上を 「富良野市学力 検証を行って

分析した結果と課題は、

平均正答率を上回った。課題と 学の知識に関する問題は、 見ている割合やテレビゲー 割合が全道の児童生徒と比較し 調査結果から、当市の児童生徒 する問題、 している時間が長いことが判明 しては、生活習慣や学習環境の したところであり、 家庭で1時間以上勉強する 小学校では算数の活用に関 2時間以上テレビ等を 中学校では国語、 家庭での役 ムを 全道 数

の取り組みと教育委員会として の指導内容は。 保護者にも啓発していく。 学力向上へ向けた各学校で

割を積極的に実践してもらうよ

ては、 きめ細かな指導による学習支援 を初めて実施をした。成果とし 計17名による学習サポート事業 課後学習に取り組んでいる。 とが重要であると考える。 の潜在能力を引き出していくこ 本の習得を柱に置き、子ども達 休みにも計画しており、 ができた。また、この事業は冬 補助として教育大学生の派遣、 らに夏休み期間中には、教員の を全校で策定し、授業改善や放 証しながら「学校改善プラン」 自校の調査結果を分析、 学習意欲の向上が図られ 基礎基



学習サポート事業

自主的に行っています。 生活に密着した活動を

の現状把握と課題について」 |調査第1号 | 地域コミュニティ

(事務調査報告)

る充実が望まれる。」これを基 きる地域コミュニティのさらな 長し、安心して暮らすことので 防犯の視点からもレクリエーシ 要である。さらに、地域の防災: のルールを守り、互いに支え合 軽に話し合うことができ、 齢社会を迎える中、 本として調査しました。 ョンなどを通じ、互いの輪を助 い助け合う心の通った交流が必 イの基本姿勢として、「少子高 委員会では、 地域コミュニテ 地域内が気 地域

加入率は約85%で、各々親睦交 合会数は32です。また、 本市の町内会数は190、 流や文化活動など、日常 町内会 連

会の 動 盲 本市 点目は イ活動推進員につい 点意見を付しました。 始 1 委員会報告として、 は 昭和 名体制で各連 地域コミュニテ 48年度に開 て。 3

> ことが原点。地域と行政が連携 視点からも、入会促進マニュア 2点目に、コミュニティ推進の ましたが平成23年度より2名体 ールを遵守し、安心して暮らす 交流の推進について。地域のル 重要案件です。3点目に、地域 加入者の意識も含め実態把握も 者に対し入会を促す対策と、 の未加入が多いことから、 防災・防犯及び地域交流促進の において町内会入会率が低迷し 定を検討し、地域とより密着し ル等の作成と、共同住宅入居者 ための支援について。地域活動 た推進員であることが大切です 相談などを受けて 実施要綱等の制 管理 未



北の峰地区大運動会

会の要望、 し、交流促進に啓蒙啓発が重要

8

総務文教 (都市事例報告)

|地域コミュニティの推進状況

担当職員制度を調査しました。

化活動 200団体7千人近い市民が協 動を強固に推進しています。 と合わせ、 ます。また、共同のまちづくり ついている事例も報告されてい な対策を行った結果加入に結び にも入会案内を行うなど、 パート等の所有者及び大学生等 促進マニュアル等を作成し、 会加入率向上対策として、 力されています。町内会入会率 共助・公助の責任の下、 指針を策定しています。 置しています。町内会等に対す る支援として協働のまちづくり 室蘭市は平成19年市民活動推 25年4月で69. (現在は地域生活課) (ボランティア) 町内会等に対する活 3 % 清掃美 自助 等で、 地道 町内 を設

[南幌町]

仕事だ」と無関心でいるのでは がするだろう」「それは行政の 南幌町の住民自治は、「誰 自分たちの地域は自分た

> ちで考え、 ミュニティ推進員と同じ、 よいまちにして行く地域づくり この度の事例で本市の地 みんなと一緒により 地域 域

報告した後、 減少傾向です。町内会入会率は 望は地域で解決し、 れています。 は個別に担当課と協議し地域に 地区内で出された要望等の事項 役員会、 を求められることにより、 基に職員が携わる活動は、 地域内の支援活動、 最低2名、 100%に近い状況です。 平成19年施行し、 地域行事等に参加し、 多い所で6名配置 当初より地域内要 職員全員が共有さ 年々要望は 調査活動を 20の地域に 出席



南幌町にて

医師確保について. |調査第2号「地域医療計画と 保健福祉 (事務調査

報告

地域医療のありかたについて議 論を深めてきました。 実施し、 の意見交換を行い、 委員会では、富良野医師会と 命と健康を守る今後の 事例調査も

のは、 をいたします。 とかかわりの深い旭川医大にお 市志向が高く地域センター病院 新医臨床医研修医制度によって す。医師の偏在が顕著になった の医師数は15番目となっていま 医療圏に集中し、 道の医師の半数が札幌、 る基本であることを踏まえ報告 いても同様な傾向ですが、 ことになり、多くの研修医が都 指定病院で受けることができる 初期臨床研修を出身大学以外の 医療体制を示しています。 北海道は医療圏を21に区分し 平成16年から導入された 私達が安心して暮らせ 富良野医療圈 旭川の 医師 北海

ある北海道保健医療福祉計画は 富良野市地域医療計 改訂され死亡要因が5疾 画の基 で

> 策の立案や実施を行い医師確保 るには一つの施策だけでは医師 られているが、地域センター 直しが急務です。25年度より 医療体制の変化、策定され6年 病となり、 金の活用なども視野に入れた施 不足解消は困難であり、 院の常勤医師を安定的に確保す 師確保に関する施策の展開が図 経過し医療環境の変化に伴 れるとともに、地域医療対策基 医師確保対策の必要性が求めら 市における1次救急 多様な :い見 É 病

す。 理解、 を喚起する内容として、 信の抜本的な見直しが必要で さらに市民向けに医療施策 医療機関の受診行動など 情報発 0

の確立が求められます。



医師会との意見交換

保健福祉 (都市事例報告)

金貸付条例による医師確保状況 枝幸町】医療技術者等修学資

新たな地域間競争が懸念される が、貸付金額増加を行ってでも 討されている貸付金の増額は、 な定着にも課題があり、 職するなど貸付金による継続的 状では、償還免除の決定後に退 を対象として人材確保に努めて び介護福祉士など、多くの職種 い緊迫した実情がうかがえる。 医師確保に努めなければならな いることが大きな特徴です。現 枝幸町の修学資金貸付制度 医師に限らず医療技術者及 今後検

羽幌町 町ぐるみの医療支援

機運を盛り上げ、 る条例制定につながったことが 究特別委員会設置による調査と う地域医療を守る会「折り鶴 しやすい環境づくりの支援を行 住民は医療現場の厳しさを理解 機に住民と議会は素早く動き、 道立羽幌病院の医師減少を契 医師・病院スタッフが診療 地域医療確保に対する 議会は医療問題調査研 地域医療を守

> 確保の参考となる事例です。 出すことにより、 が働き甲斐を感じる魅力を生み なで支えたいとの熱意で、 うかがえた。また、 持続的な医 病院をみん

病院としての医師確保への挑戦 [留萌市] 基幹病院である市立

多様な成果を生み出している。 入れた予防医療体制取り組みは 民の高齢化による介護を視野に りに成功している。さらに、住 双方の医師確保のきっかけづく 対策を生み出し、 研究は住民の疾病傾向の把握と 訪れるきっかけをつくりまた、 ルド構築で多くの医師や学生が ら魅力的と思われる研究フィー 安定につながると考え、 医師の安定確保が地域医療の 大学や医学生 医師か



訪問した留萌市立病院

実施し、また、担当部局から平 経過において、栗山町、 た、それを目指すべく富良野 業振興の位置づけを確認し、 を、まちづくりの中における農 富良野市の基幹産業である農業 説明を求め、 捗状況について、 市農業・農村計画策定作業の進 成26年3月に策定される富良野 テーマに議論を進めてきました。 の施策としてあるべき方向性を 良野らしい農業とは何か、 振興について」の調査において 継続調査の ニセコ町の都市事例調査を 意見交換をしまし 調 査第3号 資料の提出と 石狩

富 ま

市

ます。意見交換においては、 通り進行されている状況にあり けての意見書が提出され、 産性向上対策の4点が確認され 向けて議論すべき重点項目とし 行われ、その結果、今後策定に では、現行計画の評価・検証 市長へ計画案の策定に向 担い手対策 ③農村集落対策 ②農地流動 ④ 生 画 が

業を単に農業分野だけの問題と

経済建設

(事務調査報告)

携した農業振興のあり方につい 関係する多くの団体や機関と連 ら行政全体の課題としてとらえ せず、「まちづくり」の視点 て意見が集中したところです。

りさらなる議論が必要なことか 地域を包含した支援体制を構築 要であり、行政が中心となって ある産業として持続・発展して 来的に農業が地域にとって魅力 していくことが急務と考えてお 計画の検証を踏まえた中で、将 た農業経営システムの確立が必 いくためには地域特性を生かし 継続調査を求めるものです。 委員会では今後、農業・農村

経済建設 都市事例報告)

■農業振興について

た。これまでに開かれた審議会

栗山町

域を代表する農業者23名が加わ の個々の課題、 全体が組織化されており、農家 っていることで、栗山町の農業 構成され、事業の推進体制に地 町と農業に携わる関係団体から 栗山町農業振興公社は、 さらに地域の課

る印象を受けました。となって継続的に議論されていを見出すため、関係機関が一体を見出すため、関係機関が一体

石籽計」

との連携により成長する石狩農 との協働による農業振興のあり 守り育てていこうとする、 市民と一体となって石狩農業を 感じて理解を深めてもらう市民 市民にもっと石狩農業を身近に 実践する姿勢に表れています。 まるしぇ便トラックによる市内 業」であり、そのことは、 向け講座の取り組みについても、 への販売促進など、地産地消を 市場「とれのさと」での直売や 万は非常に参考になりました。 石狩市の農業が目指す将来像 地域資源を生かし、 地物 市民 市民

[二セコ町]

を 業など他産業との連携により直 業など他産業との連携により直 を明るく元気づけています。 を明るく元気づけています。 を明るく元気づけています。

思われます。
思われます。
思われます。
思われます。

題であると感じました。農村景観の整備については、農村景観の制定によって観光資景観条例の制定によって観光資清な流動化、町独自の緑肥奨励滑な流動化、町独自の緑肥奨励清な流動化、町独自の緑肥奨励力が大震観を守る観点から、行政のおの横断的な支援体制のもとめた景観を守る観点から、行政めた景観を守る観点から、行政のおの横断的な支援体制のもと感じました。



ニセコビュープラザ直売会

性化議会改革特別委員会

議会改革の取り組みについて

過報告をいたします。議会改革特別委員会より、経

富良野市議会の議会改革は、富良野市議会の議会改革は、二元代表制のもと、議会に対すの意思疎通を図り、議会に対する住民参加を進め、住民の意見を代表する機能、討論と審議のを代表する機能、討論と審議のできました。

みを行ってきました。 これまで、具体的には議会活動、議員活動、情報公開と市民 が修の充実強化、議員倫理の明 が修の充実強化、議員倫理の明 が修の充実強化、議員倫理の明 が修の充実強化、議員 が表した。

の活動原則等、第3章市民と議 を選を検証しながら、議会 をの結果、富良野市議会基本 をの結果、富良野市議会基本 をの結果、富良野市議会基本 をの結果、富良野市議会基本 をの結果、富良野市議会基本

ていくこととしています。
などの検証を行い、議論を進めの関係、第5章自由討議の拡大の関係について検討してきま

議会報告会については、議会 を に 等め、住民の抱えている課題 に 等め、住民の抱えている課題 に 議会としてしっかり向き合う 中で 多様な 意見を くみ取り、 議 会における 政策提案に結びつけ 会における 政策提案に結びつけ ることが原点です。

今回開催した、布部会館、鳥沼会館での意見交換では、高齢化に伴う地域コミュニティ活動、地域防災活動の現状、冬季間の地域防災活動の現状、冬季間の時さんからまちづくり、地域の皆さんからまちづくりの体制など、公共性の高い積極的な意見、課題提案をいただきました。

報告会では、即答できるもの以外は後日お知らせすることと以外は後日お知らせすることといかは後日お知らせすることとさんとともにまちづくりを推進さんとともにまちづくりを推進する議会報告会といたします。

保健福祉 (付託条例審査報告)

置条例を制定・ ■富良野市相談支援センター設

制定するものです。 支援業務を行うため、 必要なサービスが利用できるよ 向けた計画相談支援などの相談 者や障がい児の基本相談支援や 援センター」を設置し、障がい 祉法に規定されている「相談支 援するための法律、及び児童福 生活及び社会生活を総合的に支 日に改正された、 この条例は、平成24年6月27 サービス等利用計画策定に 障害者の日常 本条例を

め慎重に審査を進めてきまし の解釈と運用について説明を求 委員会では、担当部に本条例

計画を作成することのできる相 用計画が作成可能かなど、当該 障がい児に対してサービス等利 月までに、 制度実施期限である平成27年4 談支援専門員に関して、多くの ついて理解はするが、相談支援 審査では、 すべての障がい者、 条例制定の主旨に

意見がありました。

ほか、 もの」と決定しました。 に達しました。以上の協議の結 専門員がおり、法律の改正主旨 題に対し、 要数の相談支援専門員を確保す の制定が必要であるという結論 が優先されることから、本条例 等利用計画の策定が求められる 定相談事業者としてのサービス から速やかに法に基づく指定特 が大きな課題です。これらの課 沿った増員が容易ではないこと れる人数に限りがあり、 ることが課題とされています。 ることから、 行うことができないとされてい な事業所として相談支援業務を れば、相談支援センターが法的 援専門員の資格を持っていなけ よる養成講習会を経て、 しかし、養成講習会で養成さ 相談支援専門員は、 議案第7号は「可決すべき サービス利用の体制整備 現在1名の相談支援 本実施までに、必 北海道に 希望に



議 報 会

■6会場で議会報告会開催

見や要望そして質疑が交わされ で次の事項について、 ◇昨年の11月以降には、

幅広く意 各会場

議員定数、

議員報酬

医師確

[鳥沼会館] 18名出席

議員定数、 災、プレミアム商品券につ 間の農業振興、 の補助金、 ワイン事業、 コミュニティ活動 鳥沼公園、 冬期

[布部会館] 5名出席

議員定数、 ミュニティ活動及び推進員、 査費、 織についてなど。 高齢者元気事業、 海外視察研修、 議員報酬、 自主防災組 地域コ 政務調

.東部児童センター] 11名出 席

地域コミュニティ、 の伝達方法についてなど。 経済建設委員会調査、 議員定数 災害時

[山部福祉センター] 21名出

. 育良会館] 10名出席

道路整備についてなど。

保、東山地区観光振興計画、

議員定数、議会活動、 興、道路改良、医師確保修学 地域医療についてなど。 農業振

ち帰り担当に伝達、 を通じ回答しています。 する要望や質疑については、 ※この中で出された、行政に対 確認後会長 · 持



山部福祉センタ

地域コミュニティ、議員定数 救急車の対応、 地域の関わ

りについてなど。

.**東山公民館]** 12名出席 議会報告会資料、 医師の確保、

平成24年度決算審査特別委

5千円、 険·介護保険·後期高齢者医 業営業収益3億8553万2千 億2414万7千円、ワイン事 3億2725万3千円です。 額 61億9356万2千円、 共下水道事業 · 簡易水道事業) 療・公設地方卸売市場事業・公 4千円、 万2千円で実質収支総 般会計では125億363万 平成 企業会計は水道事業決算額 一般会計122億1106万 24年度決算歳入総額 特別会計6億5735 特別会計 (国民健康保 歳出総 額 は は 4 用

平成24年度富良野市一般会計ほ 用 急通報システム事業費」 ごとの審査を行いました。 8日の3日間にわたり、 について会計管理者から総括的 要求資料の検討並びに決算内容 たっては、 か各会計歳入歳出決算審査に当 に説明を受け、 審査では、 認定第1号より認定第9号の、 ハウス促進支援事業費 9月13日に審査日程 「職員研修事業費 11月6日、 「高齢者等緊 所管部 「栽培 7 旦、

作 課後子ども教室推進事業費」 した。 等に対し 劇工場管理運営費」「特別会計 物等生 「河川河床浚渫事業費」 に幅広い質疑が行われま 産 環 境 改 善 促 進 事 演 放 業

業費」の予算額と執行額のか における経営分析とチェック体 うち指定管理料」の平成24年度 制の確立についての3項目に対 いて、「演劇工場管理運営費の 離の要因分析と今後の対応につ 22日に日程を設けたところです。 換が必要との判断にたち、 さらに市長、教育長との意見交 員会の進め方を協議した結果、 して行いました。 わたる審査を踏まえ、 畑作物等生產環境改善促進事 また、 ハウス促進支援事業費」 意見交換においては、 11月8日には3日間に 今後の委 及び 11 月 11

までの9件について、全会一致 たしました。 で「認定すべきもの」と決定 1号の一般会計より認定第9号 審査結果については、 認定第

可 決され た意見書

書は可決後、直ちに関係機関に た意見書は次の3件です。 送付しました。 ◇第4回定例会に議員提案され 意見

●森林・林業・木材産業施策の 積極的な展開に関する意見書 孝則議員 外6名

を取り巻く状況は依然厳しく、 国家戦略として国の計画に基づ ていることから、森林・林業を るとともに、森林の有する公益 北海道の森林・林業・木材産業 大きな期待が寄せられているが く各施策により、 的機能低下への影響を危惧され 化問題の中、 村地域の存在困難が懸念され 近年の深刻な地球温 森林・木材に対し 森林・林業の

を求める意見書 給の取り組みなど積極的な展開 的復興のための木材の安定的供 再生推進と東日本大震災の本格)日本型直接支払制度の創設及

び経営所得安定対策等の見直 しに関する意見書

要 政 俗が示した農政改革 利一議員 外4名

概

支払制 のだが、 世界的な農政の潮流に即したも にお 来にわたり安心して営農が続け 担い手である家族農業経営が将 招いており、農業・農村地域 に大きな混乱と生産者の不安を 所得安定対策及び生産調整見直 り来年の法制化に向け一層の拡 環境保全や地域政策を重視する られるよう施策を求める意見書 しでは、諸状況により生産現場 充が求められるとともに、 北海道の低交付単価の課題もあ 利用者本位の持続可能な介護 保険制度の確立を求める意見 17 度が て、 交付要件、 多 創設されたことは、 面的 機能に対する 財政負担、 経営 O

岡本 俊議員 外5名)

[概要] める意見書 働き続けられる各施策を強く求 慣れた地域で生活できる仕組み 障制度を確立し、高齢者が住み 高齢者の尊厳が守られ、 本位に基づく持続可能な社会保 保等が一層重要となっており、 た財源やサービス提供体制の確 づくりと介護労働者が安心して 社会保障の機能強化に向け 少子高齢化が進展する 利用

議会日誌

11月

5日 · 保健福祉委員会

· 経済建設委員会

6日·決算審查特別委員会

7日·決算審查特別委員会

· 総務文教委員会

8日,決算審查特別委員会

· 総務文教委員会

· 保健福祉委員会

18日·経済建設委員会

· 総務文教委員会

·議会報告会(鳥沼会館)

19日·議会改革特別委員会

20日·議会報告会(布部会館)

22日 · 決算審査特別委員会

· 議員協議会

· 保健福祉委員会

26日・第4回定例会告示日

・総務文教委員会

28日·議会運営委員会

12月

3日・第4回定例会(1日目)

· 議会広報特別委員会

· 議会改革特別委員会

10日・第4回定例会(2日目)

· 総務文教委員会

· 保健福祉委員会

11日・第4回定例会(3日目)

· 議会運営委員会

13日・第4回定例会(4日目)

・代表者会議

14日・議会報告会(東部児童センター)

16日·議会改革特別委員会

17日·経済建設委員会

・議会報告会(山部福祉センター)

20日 · 保健福祉委員会

26日 · 総務文教委員会

27日·議会広報特別委員会

30日・仕事納め

1月

6日・仕事始め

· 代表者会議

14日·保健福祉委員会

·議会改革特別委員会

· 議会報告会(東山公民館)

15日 · 経済建設委員会

16日·議会広報特別委員会

· 総務文教委員会

23日·議会広報特別委員会

·議会報告会(育良会館)

24日·議会改革特別委員会

27日 · 議員会研修会

総務文教委員会

28日·保健福祉委員会

29日 · 経済建設委員会

31日・議会報告会(布礼別集落センター)

傍聴してみませんか

平成26年第1回市議会定例会の 開会予定日をお知らせします。

【日 程】

3月 3日(月) 開 会 日

3月 4日(火)第2日目

3月 5日(水)第3日目

3月10日(月) 一般質問

3月11日(火)一般質問

3月12日(水) 予 備 日

3月13日(木)予算総括質疑

3月14日(金)予算特別委員会

3月17日(月)予算特別委員会

3月18日(火)予算特別委員会

3月20日(木) 最終日

※開催日は変更する場合がありますので、 傍聴の際は日程を確認してください。 ※多くの方の傍聴をお待ちしています。

> お問合わせ:議会事務局 **239-2322**

保健福祉委員会	総務文教委員会	委員会名
調査第5号	調査第4号	調査番号
看護専門学校について	墓地の維持管理について	調査件名

)各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査を行います。

事務調査



大成功に終わってほしいもの一つになる最高の催事であれてポーツを通じ国民の心・輪東京・札幌・長野があります東京・札幌・長野がありますのる過去のオリンピックに 決定の リンピックかと思います。 ことと言えば、 昨 にてお迎います。 食品 のことを忘れた残念なことも 利に 東京オリンピッ **| 日本中の国民が沸い日本中の国民が沸いる迎えのことと思いま** よる のみ産 いを追求し 地 小し食する ク・ ります いもの クに あ

ご活躍されますようご祈念申し下さい。

▼本年は午年(うまどし)ですし下さい。

(うまどし)です。

のお元気でおせる寿の西の横り

暮綱 7

13

H 私がラ催 、ます。 り、 すがは、 た

会広報 特別委員 会

尚 野

日も早く消費

則

▼本年は平成26年。昭和でよいです。これからもお元気でお話してす。北海道においては、2番目に御長寿の西の横綱で最高齢の満108点をめでたく迎えられる南扇山に在住の井上喜市さん(男性に在住の井上喜市さん(男性は、2番目に御長寿の西の横綱で最高齢の満108点に在住の井上喜市さん(男性になり、2番目に御長寿の西の横綱です。これからもお元気でお話している。これからもお元気でお話です。これからもお元気でお話です。これからもお元気でお話です。これからもお元気でお話です。 ので 頼を n ただきた 年年で

南扇山二 本市では が前の年号